

池袋チャイナタウンの歩き方 (2017年8月改訂版)

＜立正大学 地球環境科学部 地理学科 教授 山下 清海＞

「池袋チャイナタウンに行ってみただけで、どのように歩いてよいかわからなかった」という声を、しばしば耳にします。そこで、池袋チャイナタウンの歩き方のマップガイドを作ってみました。ここでは、とりあえず中国人経営のおもな中国料理店、中国食品店などを取り上げました。いずれの中国料理店も価格が安く、日本語メニューもあり、日本人客大歓迎です。店員さんは日本語ができます。ほとんどの店が、ランチ、定食、各種セットメニューがあります。詳細については、それぞれの店の名前を、検索サイトで探してみてください。

池袋駅に到着したら、まずは「**池袋駅北口**」①を目指してください。階段を上って地上に出ると、中国的世界が広がります。ここから歩き始めましょう。池袋チャイナタウンの中国人の店の多くは、雑居ビルの上階（一部は地下）に入っています。「上を向いて歩こう」です。池袋チャイナタウンについて、さらにくわしく知りたい方は、山下清海（2010）：『池袋チャイナタウン—都内最大の中華街の実像に迫る—』洋泉社、および山下清海（2016）：『新・中華街—世界各地で〈華人社会〉は変貌する』講談社（選書メチエ 632）をご覧ください。

- ①**池袋駅北口** 池袋チャイナタウンのゲートウェイ。階段の途中で後ろを振り返ると中国人経営の店舗の広告が見えます。
- ②**永祥生煎館** 上海名物、焼き小籠包（中国語で「生煎包」）のテイクアウト店。店内のカウンターでも食べることができる。4個＝400円。6個＝600円
- ③**陽光城** 池袋チャイナタウンのランドマーク的存在。中国らしい赤塗りの店舗が目印。中国食品が何でも揃う。中国酒、油条、茶葉蛋なども販売。
- ④**中国食品友誼商店** (4F)・**聞聲堂中国書店** (2F) 2010年に倒産した「知音」の後継店。4階が中国食品店。店内が広い中国食品スーパー。中国東北地方に多い朝鮮族が好む食品も多い。2階の聞聲堂は中国語の本、DVDの専門店。
- ⑤**知音食堂** (地下) 大衆的な四川料理専門店。辛さは本物。日本人には麻婆豆腐定食が人気。
- ⑥**逸品飲茶 縁茗** [えんな] (地下) カラオケ店「富麗華」の女性オーナー経営の飲茶（点心）専門店。セットメニューが豊富。2016年7月開業の新しい店。
- ⑦**串串香** 麻辣燙（マラータン；基本的には春雨の辛いスープ麺）の専門店。辛さの度合い、各種トッピング（具材）、麺の種類などが自由に選べる。
- ⑧**東京中華街** (4F) 大衆的な価格で日本人客も多い。池袋チャイナタウンでは老舗的存在。池袋東口にも支店がある。
- ⑨**大寶** 東北料理専門店。2階建てで店内は広い。店頭には日本語の料理メニュー（写真）がある。蚕の串焼きもある。
- ⑩**永利本店** 平和通りにあり、池袋チャイナタウンで多い東北料理専門店の中でも老舗的存在。日本人客も多い。
- ⑪**阿里郎 (アリラン)** 永利本店⑩の隣にある小皿料理で多種類の料理が味わえる。東北料理が専門。
- ⑫**香天下火鍋城** (2F) 清潔感ある店内で、火鍋以外、各種料理が揃う。ランチタイムには日本人客も多い。⑪阿里郎の姉妹店。
- ⑬**麻辣誘惑 大宝** 「四川&東北料理」が看板。東北料理専門店。2階席もある。中国人に人気の店。
- ⑭**逸品火鍋** (4・5F) カラオケ店「富麗華」の女性オーナーが経営。厳しいトレーニングを受けた従業員の接客サービスがよい。
- ⑮**東方紅** (8F) 文化大革命期のレトロな雰囲気を演出した中国料理店。従業員は人民服姿。24時間営業。
- ⑯**海羽日光** (2～4F) ロマンス通りの脇道にある中国食品店。以前の店名は「日光食品」。売場は2～4階。中国語のフリーペーパー（新聞）が置いてある。
- ⑰**千里香** (7F) 北朝鮮と国境を接する吉林省の延辺朝鮮族自治州の延辺料理（羊の串焼き、犬鍋〔狗肉火鍋〕などが有名な朝鮮族の郷土料理）の専門店。
- ⑱**小尾羊 (シャオウエイヤン)** (2F) 蒙古しゃぶしゃぶの専門店。⑳の「小肥羊」と同様、中国各地にチェーン店を展開。池袋では2007年開業。
- ⑲**永利西口店** ⑩の支店。日本人客が多く、特に立教大学に近い立教大学関係者に人気。ランチタイムには日本客が多い。
- ⑳**小肥羊** (8F) 中国で有名な火鍋専門のチェーン店。池袋チャイナタウンには2011年に進出。

